

Press Release

2005年2月8日

大日本インキ化学工業株式会社

中国におけるロジン変性樹脂事業の拡大について

大日本インキ化学工業株式会社（DIC、本社：東京都中央区、社長：小江紘司）は、中国におけるロジン変性樹脂事業を大幅に拡大し、原料ガムロジンからの一貫生産体制を構築することとしました。

印刷インキや塗料に使用されるロジン変性樹脂は、ガムロジンを原料としていますが、ガムロジンが天然資源である生松脂を原料とするため、調達・価格面等において変動要因を抱えています。また、中国国内需要の大幅な増加や天候不順による生松脂価格の高騰を背景に市況はタイト化しており、良質品の安定確保が課題となっています。

当社は去る1998年、中国広東省肇慶市徳慶県において、現地企業との合弁により徳慶迪愛生合成樹脂有限公司（徳慶 DIC、現在は当社100%子会社）を設立し、年産能力9,000トンによりインキ・塗料用ロジン変性樹脂の生産を行ってきました。このたびは原料の安定確保と製品のコスト競争力の強化を目指して、ロジン変性樹脂の生産能力を増強するとともに、ガムロジンの自社生産を開始し、原料ガムロジンからロジン変性樹脂までの一貫生産体制を構築することとしたものです。

能力の増強では、徳慶 DIC におけるロジン変性樹脂の年産能力を現行の9,000トンから、5年後の2010年に25,000トンとすることを計画しており、第1期として2006年2月までに約6億円の投資により18,000トンまで増強します。

またガムロジンの自社生産は、昨年設立した肇慶迪愛生松香有限公司（肇慶 DIC）が、徳慶 DIC に隣接する地元企業からさきごろ買収したガムロジン工場（年産能力20,000トン）で行います。今後、生産設備の改良・増設などを進め、6月より生産を開始することとし、稼働後は、徳慶 DIC はもちろん、当社の千葉工場などにも供給する予定です。

徳慶 DIC はこれまで当社グループのロジン変性樹脂の生産拠点として、中国、日本、アジア各国のグループ会社へ供給してきましたが、今後は欧州地域のグループ会社へも供給することとしており、2008年には約20億円の売上高を目指しています。

なお、徳慶 DIC および肇慶 DIC の概要は別紙の通りです。

[別紙]

とっけいでいーあいしー
德慶迪 愛生合成樹脂有限公司 (Deqing DIC Synthetic Resins, Ltd.)

所在地 : 広東省肇慶市徳慶県
設立 : 1998 年 3 月
資本金 : US\$550 万
出資比率 : 当社 100% 出資 DIC / DIC(China) / DIC 香港 = 55% / 30% / 15%
総経理 : 須永義明
従業員 : 約 90 名
生產品目 : インキ・塗料用ロジン変性樹脂
生産能力 : 9,000 トン / 年

ちようけいでいーあいしーしょうこう
肇慶迪 愛生松香有限公司 (Zhaoqing DIC Gum Rosins, Ltd.)

所在地 : 広東省肇慶市徳慶県
設立 : 2004 年 9 月
資本金 : US\$230 万
出資比率 : 当社 100% 出資 DIC(China) / 徳慶 DIC = 90% / 10%
総経理 : 程珍発 (徳慶 DIC 副総経理)
従業員 : 約 60 名
生產品目 : ガムロジン
生産能力 : 20,000 トン / 年

DIC(China) : 迪愛生投資有限公司。上海にある統括持株会社 (傘型企業)。当社 100% 出資。

DIC 香港 : 大日本油墨化工廠 (香港) 有限公司。香港にある販売会社。当社 100% 出資。

以上

本件に関するお問い合わせ 広報・IR 部 TEL 03-5203-7838